

会計名 一般会計			家庭教育啓発指導事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	家庭教育の推進						
	目的	青少年育成市民運動の啓発、夜間街頭補導への参加、関係行政機関・団体との連携や連絡などを行い、地域における青少年健全育成の推進を図る。	主たる内容	○青少年育成市民運動地域推進員連絡協議会の開催 ○家庭教育啓発講演会の開催 ○市民運動強調月間等における街頭啓発活動の実施 ○研修会の実施 ○夏季特別夜間街頭補導への参加 ○中学校区生活指導懇談会への参加					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令		刈谷市青少年育成市民運動地域推進員設置要綱					
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発指導事業推進会（講演会） 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・研修会 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回	
成果		青少年育成市民運動地域推進員の活動を通して、青少年の健全育成や人間形成の基本となる家庭教育の重要性について啓発し、家族がふれあい、絆の強い明るい家庭づくりを促進した。							
課題		青少年育成市民運動地域推進員の氏名、活動内容等を市民だよりで広報しているが、あまり認知されていない。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		街頭啓発活動（回）		5	5	5	5	5	
成果指標		講演会参加者数（人）		210	196	233	250	250	
他市との比較検証									
C 事業コスト V		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		361	351	384	441	合計	383,672 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	182,100 円	
		一般財源	361	351	384	441	需用費	175,122 円	
	職員人件費 ②		2,104	2,112	1,959	2,281	使用料及び賃借料	26,450 円	
	総事業費（①+②）		2,465	2,463	2,343	2,722			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			家庭教育啓発指導事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	5	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	子どもを健やかに育てる最初の間である家庭の役割の重要性について啓発を行う必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	青少年育成市民運動地域推進員を設置し、学校、PTAと街頭補導等を合同で行うことにより、学校、家庭、地域との連携を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	青少年育成に関する市民への意識啓発については、市が主体となって行うことが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	街頭啓発や青少年育成強調月間に講演会を実施することにより、家庭教育の重要性を広く周知することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
青少年の健全育成や人間形成の基本となる家庭教育の重要性について啓発し、絆の強い明るい家庭づくりを促進できるよう、引き続き実施していく。					

会計名			ハツラツかりやっ子育成支援事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	5	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年を取り巻く環境の整備						
	目的	青少年に自然体験、地域活動、異世代交流など多様な機会を提供し、地域社会を基盤とした青少年健全育成及び環境づくりを推進する。	主たる内容	複数の非営利団体が連携して実施する青少年健全育成に大きな効果が得られる先駆的な事業に対して、1事業100千円を限度として補助金を交付する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民（青少年）	事業期間	平成16年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・応募3事業 ・採択3事業		・応募1事業 ・採択1事業		・応募2事業 ・採択2事業		・応募7事業	
成果		補助金を交付することにより、地域社会を基盤とした多様な活動の機会を提供し、家庭や学校及び地域が一体となってハツラツとした子どもを育む環境づくりを支援した。							
課題		PR先の拡充を行ったが、応募件数が伸びない。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		補助対象採択事業数（事業）		3	1	2	7	7	
成果指標		参加者数（人）		405	358	600	600	600	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		300	100	198	700	合計	197,500 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	197,500 円	
		一般財源	300	100	198	700			
	職員人件費 ②		491	493	1,567	1,293			
	総事業費（①+②）		791	593	1,765	1,993			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			ハツラツかりやっ子育成支援事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	5	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	青少年の健やかな育成のために地域団体が自ら企画・運営する事業に対し補助金を支出することは、有意義かつ継続的な活動を支援するために必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	複数の地域団体が協働で青少年健全育成に関わり、地域の連携強化に繋がる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	地域住民及び非営利団体が中心となる活動の活性化にもなり、市が積極的に支援をすることは妥当と思われる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	青少年に多様な活動（自然体験、異世代交流等）の機会を提供し、家庭、学校、地域が一体となった青少年健全育成に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
他の補助金等との整合性を検討しながら、家庭、学校、地域が一体となった青少年健全育成活動を支援する必要がある。					

会計名			放課後子どもプラン事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	5	5								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	学校、家庭、地域が連携して放課後の子どもの安全・安心な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。			主たる内容	地域の方々の参画を得て、遊びや学習、体験活動、地域住民との交流などの取組を行う放課後子ども教室を開設する。 ※平成28年度より事業名を「放課後子ども教室推進事業」に変更				
	位置づけ	関連計画	子ども・子育て育成支援事業計画、刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	放課後子ども総合プラン推進事業実施要綱、刈谷市放課後子ども教室事業実施要綱							
		対象者	各小学校に在籍する児童			事業期間	平成20年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		【既設校】 小高原小、日高小、衣浦小、富士松北小、小垣江小、朝日小 【新設校】 富士松東小		【既設校】 小高原小、日高小、衣浦小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、朝日小 【新設校】 亀城小、富士松南小、双葉小		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、朝日小 【新設校】 住吉小、平成小、東刈谷小		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、住吉小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小 【新設校】 かりがね小		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>体験活動や地域住民との交流を通して、子どもの社会性を育む機会を提供することができた。</li> <li>学年、学級を超えた集団遊び等を通して、子ども同士の関わり方を学ぶことができた。</li> <li>学校生活に慣れない子どもたちにも、学校に来る楽しみや元気を与えることができた。</li> </ul>								
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>教室のスペースに限りがあるため、登録者の受入れを工夫する必要がある。</li> <li>登録児童の自由参加としているため、実際の参加児童数の把握が困難であり、またスタッフの配置数について過不足が生じる。</li> <li>放課後子ども教室の開設に伴い、コーディネーター等多数の地域の人材が必要となる。</li> </ul>								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		開設校数（校）				7	10	13	14	15
成果指標		登録児童数（人）				658	910	1,204	1,270	1,310
他市との比較検証		開設状況 知立市：7校中7校、週5日、安城市：21校中3校、週1日、碧南市：7校中1校、週3日、各市とも小学校の空き教室で開設。高浜市：5校中5校、週5日小学校のグラウンドで開設（雨天時は体育館）								
C事業 コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		13,289	16,472	20,251	24,936	合計	20,250,942円		
	財源	特定財源	7,893	9,087	11,393	13,898	賃金	3,294,750円		
		一般財源	5,396	7,385	8,858	11,038	報償費	14,657,580円		
	職員人件費②		4,699	4,928	4,701	4,715	需用費	528,333円		
	総事業費（①+②）		17,988	21,400	24,952	29,651	役務費	479,361円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		愛知県放課後子ども教室推進事業費補助金						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			放課後子どもプラン事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	5	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	児童が心豊かで健やかに育まれる環境整備推進のため、遊び、学び、体験、地域の方々と交流する場として、放課後の安全・安心な居場所づくりは必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	既存の学校施設を利用すること、また、地域の方々をスタッフとして活用することにより、効率的な事業の推進を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	本事業を実施するにあたっては学校関係者との連携、協力は必要であり、行政が主体となって積極的に関与することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	本事業に参加することにより、児童は日常的に交流することが少ない異年齢の子どもたちや地域の方々と接する機会ができ、本施策の青少年育成に寄与している。
	今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	<p>現在、敷地内工事中の1校を残し、28年度中に市内14校で開設完了となる見込みである。放課後児童クラブとの総合プランにおいては、一体型の開催等の検討事項を勘案し、事業の推進を図る。</p>				

会計名 一般会計			中高生の居場所づくり事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	中高生が放課後等に気軽に集まることができる居場所を提供する。また、中高生自らイベントの企画運営に携わることができる機会を提供することにより、中高生の自立を支援する。	主たる内容	放課後に気軽に立ち寄り、学習や交流ができる中高生のための居場所を提供し、声かけや悩み等の相談対応、自主的な活動への支援を行う。大学生をピアカウンセラー（仲間として相談に応じる人）として養成し、スタッフとして配置する。 ○場 所 総合文化センター内 談話コーナー ○開催日 毎週火・木曜日 16時～21時					
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令	子ども・若者育成支援推進法						
		対象者	市内在住または在学の中高生	事業期間	平成22年度～				
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業 実績 O ハ 実 施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		利用者数	延べ724人	利用者数	延べ679人	利用者数	延べ851人	利用者数	延べ800人
登録者数		30人	登録者数	21人	登録者数	19人	登録者数	35人	
成果		学習活動や、大学生スタッフとの交流を深める中で、中高生が気軽に立寄ることができる居場所づくりができた。各種イベントの企画・実施、大学生スタッフにピアカウンセラー養成講座を行い、相談に対応できる知識の習得に努めた。							
課題		・本事業の活動として悩みの相談対応があるが、ピアカウンセラーとして活動する大学生スタッフの確保が必要である。 ・利用者が減少しており、利用者を増やす工夫が必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
成果指標		登録者数（人）		30	21	19	35	40	
成果指標		中高生が関わったイベントの回数（回）		3	3	3	3	3	
他市との比較検証		碧南市、高浜市が類似の事業を実施している。							
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,985	2,058	1,990	1,951	合計	1,989,686 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,989,686 円	
		一般財源	1,985	2,058	1,990	1,951			
	職員人件費 ②		842	915	1,567	2,434			
	総事業費（①+②）		2,827	2,973	3,557	4,385			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			中高生の居場所づくり事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	5	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	地域でのコミュニケーションの欠如、若者の自立の遅れ等、社会環境が変化中、中高生が気軽に立寄り社会参加できる場所が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	大学生をピアカウンセラーとして養成し、大学生自身の意識、能力向上に繋げ、またその大学生をスタッフとして配置することで事業の効果が期待できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	中高生が放課後等に気軽に立ち寄るなかで交流を深め、悩み事を安心して相談できる環境づくりが必要であるため、公共施設内に開設し市が関与する事が妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	安心して過ごせる居場所を設け、同世代の仲間との交流、悩みの相談等を行うことで、中高生の自立を支援することができる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
引き続き、中高生が放課後に気軽に立寄りることのできる居場所を提供するとともに、ボランティア活動や地域活動など中高生の社会参加を支援する。また、ピアカウンセラーの養成を推進し、大学生スタッフの確保に努める。利用状況の推移等を参考に、事業内容や対象者等の見直しを検討する必要がある。					



会計名 一般会計			市民講座開設等事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	13					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	中央生涯学習センターにおいて大学連携講座をはじめとする各種市民向け講座及びイベントを行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。		主たる内容	中央生涯学習センターにおいて、ギャラリーでの作品展示、親子や一般を対象とした無料の講座・講演会「刈谷まなびの広場」を年に1回開催する。 「市民講座」及び「大学連携講座」を開催する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令							
		対象者	市内在住または在勤の人		事業期間	～			
		実施方法	□直営 ■委託 ■指定管理 □補助・助成 ■その他						
	B 事業 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知教育大学連携講座 4講座 受講者数 80人</li> <li>名城大学連携講座 2講座 受講者数 121人</li> <li>生涯学習イベント「刈谷まなびの広場」 10講座1講演 381人</li> <li>市民講座 32講座 受講者数 586人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知教育大学連携講座 4講座 受講者数 97人</li> <li>名城大学連携講座 3講座 受講者数 62人</li> <li>生涯学習イベント「刈谷まなびの広場」 10講座1講演 427人</li> <li>市民講座 33講座 受講者数 573人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知教育大学連携講座 4講座 受講者数 72人</li> <li>名城大学連携講座 2講座 受講者数 58人</li> <li>生涯学習イベント「刈谷まなびの広場」 8講座1講演 295人</li> <li>市民講座 33講座 受講者数 583人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知教育大学連携講座 4講座を予定</li> <li>名城大学連携講座 2講座を予定</li> <li>至学館大学連携講座 1講座を予定</li> <li>生涯学習イベント「刈谷まなびの広場」を実施予定</li> <li>市民講座 33講座を予定</li> </ul>	
成果		大学連携講座においては、大学教授等による専門的な講座を実施することにより、市民の学習意欲の向上及び学習活動の活性化を図ることができた。 また、生涯学習イベント「刈谷まなびの広場」については、子どもから大人までの幅広い世代を対象に行い、学習活動へ取り組むきっかけを提供することができた。							
課題		大学連携講座においては、実施する講座が単発講座になると目標値の達成が困難となる。講座の実施については大学の協力を得る必要があるため、大学との連絡調整を通じて引き続き一定の講座数を確保する必要がある。							
指標		指標名称（単位）			実績値			目標値	
成果指標	大学連携講座の年間受講者数（人）			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標				201	159	130	200	300	
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		11,473	11,704	12,073	13,191	合計	12,073,292 円	
	財源	特定財源	72	32	25	432	需用費	17,776 円	
		一般財源	11,401	11,672	12,048	12,759	役務費	5,920 円	
	職員人件費 ②		3,998	4,013	5,249	5,856	委託料	11,943,000 円	
	総事業費（①+②）		15,471	15,717	17,322	19,047	使用料及び賃借料	81,096 円	
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
	27年度までの累積事業費		0		講座受講料				
	29年度以降の事業費見込		0						

会計名			市民講座開設等事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	各種講座、生涯学習イベントの開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	時代の変化に対応したプログラムの提供、生涯学習イベントの開催など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	各種講座及び生涯学習イベントを実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き中央生涯学習センターにおいて大学連携講座をはじめとする各種講座及び生涯学習イベントを行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名 一般会計			市民館施設補修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	施設・設備の経年劣化に伴う補修等を行うことで、安全で快適な施設の維持を図る。	主たる内容	○施設・設備の補修					
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例						
	対象者	市民	事業期間	～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・空調機取替工事		・東境市民館下水道接続工事 ・空調設備改修工事 ・外壁改修工事		・空調機取替工事 ・外壁改修工事		・空調機取替工事 ・外壁改修工事	
成果		公共施設維持保全計画及び指定管理者である各市民館運営委員会との補修箇所の協議に基づき、施設及び設備の修繕を行い、適切な施設の維持管理を行った。							
課題		空調機については、各市民館の建設年次及び空調機の設置年次からの経過年数を基に取替計画を策定し、各市民館運営委員会からの故障・不具合報告を踏まえ、計画的に実施する。今後、経年劣化により設備の不具合の増加も予想されることから、常に各市民館の状況を把握していく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		空調機更新率（％）		67.4	71.7	76.8	80.0	80.0	
活動指標		外壁改修率（％）		—	4.6	13.6	36.4	45.5	
他市との比較検証									
C 事業 コスト V		単位：千円		25年度 （決算）	26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （予算）	27年度 事業費内訳	
	事業費 ①		11,018	14,172	13,227	33,502	合計	13,226,860 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	339,260 円	
		一般財源	11,018	14,172	13,227	33,502	工事請負費	12,887,600 円	
	職員人件費 ②		1,227	1,513	979	2,091			
	総事業費（①+②）		12,245	15,685	14,206	35,593			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民館施設補修事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	5	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	市民館は地域コミュニティの活動の場であり、多くの地域のサークル活動や地区・公民館の活動に利用されている。施設・設備の老朽化に伴う補修を行うことは、施設を安全に利用していく上で必要であり、コミュニティ活動の促進に繋がっている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	公共施設維持保全計画に沿って、施設・設備の補修を計画的に行っており、予防保全の考えから、施設の長寿命化が図られ、結果としてコストの節減が図られている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	市民館は市が所有する公共施設であり、市が主体となって補修を行う必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	市民館を安定的に利用可能な状態に維持することを目的としており、今後も市民サービスの低下を招かないよう管理する必要がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
市民館を含め、市全体として公共施設維持保全計画が策定されており、今後も計画に沿った施設や設備の補修を実施する。 また、突発的な修繕に対応するため、日ごろから市民館運営委員会と連携を図り、施設の状況を常に把握できるように努めていく必要がある。					

会計名			文化振興事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	5	13							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	市民に舞台芸術とふれあう機会を提供し、文化芸術意識の向上を図る。		主たる内容	文化芸術創造の拠点である総合文化センターで、指定管理者が実施する各種の文化普及鑑賞事業を支援する。 また、発表の場としての機能を提供することで、市民の芸術文化活動を支援する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成23年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
B 事業実績	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
	28事業(有料20事業・無料8事業)を実施、入場者延25,695人 ・大ホール利用 565回 198,389人 ・小ホール利用 436回 47,624人 ・リハーサル室1利用 279回 10,864人 ・リハーサル室2利用 548回 10,580人		29事業(有料20事業・無料9事業)を実施、入場者延38,539人 ・大ホール利用 586回 197,228人 ・小ホール利用 479回 42,008人 ・リハーサル室1利用 287回 10,271人 ・リハーサル室2利用 509回 10,723人		28事業(有料19事業・無料9事業)を実施、入場者延49,825人 ・大ホール利用 648回 231,616人 ・小ホール利用 538回 53,506人 ・リハーサル室1利用 400回 15,250人 ・リハーサル室2利用 477回 10,810人		33事業(有料24事業・無料9事業)を実施		
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大ホールでの自主事業として、「市制65周年記念 NHK交響楽団 刈谷公演」(6月29日)、「ディズニー・ライブ! ミッキーのミュージックパーティ!!!」(3月18日～21日)などを実施し、多くの市民に鑑賞してもらうことを通じて舞台芸術の普及、振興に寄与できた。</li> <li>・アウトリーチ事業を11箇所で開催し、市民が気軽に芸術鑑賞できる機会を提供できた。</li> </ul>							
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として満足出来る入場者数だったが、演劇、ミュージカル事業では目標の入場者数が振るわなかった。</li> <li>・より市民のニーズを捉え、実施内容について検討する必要がある。</li> </ul>							
	指標	指標名称(単位)			実績値		目標値		
成果指標	文化振興事業入場者数(人)			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
成果指標	大ホール稼働率(%)			73.3	76.1	82.5	76.5	75.0	
他市との比較検証	文化施設等の管理・運営・企画を民間の指定管理者に任せている自治体、施設名、文化事業数 一宮市：一宮市民会館 23事業 広島県三原市：三原市芸術文化センター 22事業								
C 事業コスト	単位：千円		25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	27年度事業費内訳		
	事業費①		25,680	27,165	31,208	29,610	合計	31,208,000円	
	財源	特定財源	188	0	0	0	委託料	31,208,000円	
		一般財源	25,492	27,165	31,208	29,610			
	職員人件費②		9,468	7,743	7,834	5,856			
	総事業費(①+②)		35,148	34,908	39,042	35,466			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化振興事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	身近な場所で各種の文化普及・鑑賞事業を開催することで、市民の舞台芸術作品の鑑賞機会に対するニーズを実現している。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	指定管理者による運営を行うことで、地方自治体の文化施設では招聘することが難しい事業を開催することに成功している。 大規模公演は、共同主催の形で実施し、リスクを抑えながら質の高い舞台公演を開催している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	文化芸術創造の拠点となることで、「誇りと愛着もてるまちづくり」施策を実現している。 普及活動としての市民スタッフ育成事業や市民の発表支援を通じて、「市民が活動しやすい施設・環境づくり」施策を実施している。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	著名なアーティストや、芸術性の高い公演を実施することにより、身近に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで市民サービスの向上を図っている。 また、センターの知名度向上により、刈谷市の認知度アップに貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・ホール及びシティセールスとしての著名な公演の誘致と、市民や地域の文化芸術の振興に寄与する公演をさらにバランスよく編成する必要がある。					

会計名			刈谷からの文化発信創作事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	5	13							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	本市の持つ新たな魅力や地域文化を掘り起こし、本市への郷土愛にあふれた舞台作品を制作し、市の内外へ発信することで、市民の本市への愛着・誇りを醸成する。			主たる内容	取材やワークショップを踏まえた台本を作成し、出演者公募ののち、公演を開催する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成26年度～平成27年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		_____		・ワークショップ 平成26年10月25日、11月9日、11月22日（3回） ・フィールドワーク 平成26年11月22日、平成27年1月24日（2回）		市民劇「はるかにつながる空の下」 ・開催日 平成27年12月20日 ・場所 総合文化センター		_____	
成果		・市民スタッフが中心となって、脚本・演出家や音楽家と市内の取材やフィールドワークを実施し、刈谷を舞台とするオリジナル市民劇を制作し、市民に刈谷の魅力を発信できた。							
課題		・文化発信という観点からは、毎年事業を実施していくことが望ましいが、運営していく市民スタッフの人数が足りないため、スタッフの確保が課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
成果指標		入場者数（人）			—	—	883	—	—
指標									
他市との比較検証		施設付きのボランティア団体がある近隣市は、大府市と知立市があるが、ボランティアスタッフが主体となって企画公演を行っている団体はない。							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	3,390	0	合計	3,390,000円	
	財源	特定財源	0	0	1,100	0	委託料	3,390,000円	
		一般財源	0	0	2,290	0			
	職員人件費②		0	0	2,350	0			
	総事業費（①+②）		0	0	5,740	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0		地域創造助成金			
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷からの文化発信創作事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	市民が中心となって舞台芸術を企画運営し、出演者も市民が多数を占めており、このような機会を提供することは、文化振興において重要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	総合文化センターの事業として、指定管理者がボランティアスタッフと協働することで、事業運営や経理などが適正に行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市民に舞台芸術作品を制作する機会を提供するために、市が支援していくことは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	市民が主体となって文化芸術を創造していくことは、刈谷の文化振興に大きく寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ・5年後に大ホールで舞台芸術作品を発表できるよう、ワークショップ等を重ねることで準備していく。	



会計名			青少年健全育成事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	5	5								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年を取り巻く環境の整備							
	目的	市内小・中・高等学校等で組織する児童生徒愛護会の活動を中心に、児童生徒の生活指導、安全確保などの取組みを行い、青少年の健全育成を図る。	主たる内容	○児童生徒愛護会の開催 ○夏季・冬季休業中、テスト期間中、夜間等街頭補導の実施 ○中学校区生活指導懇談会の開催 ○善行美徳表彰の実施 ○学区内危険箇所調査の実施 ○家庭の日・青少年作文コンクール、家族への手紙コンクールの実施 ○のぞましい家庭教育のしおりの発行						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民	事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美徳表彰21件29人 ・危険箇所調査54箇所 ・家庭の日作文コンクール63人表彰 ・青少年作文コンクール応募258通 ・家族への手紙コンクール 応募879通 ・合同街頭補導実施延べ400日		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美徳表彰21件40人 ・危険箇所調査107箇所 ・家庭の日作文コンクール63人表彰 ・青少年作文コンクール応募291通 ・家族への手紙コンクール 応募670通 ・合同街頭補導実施延べ400日		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美徳表彰21件93人 ・危険箇所調査120箇所 ・家庭の日作文コンクール63人表彰 ・青少年作文コンクール応募875通 ・家族への手紙コンクール 応募1231通 ・合同街頭補導実施延べ400日		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美徳表彰 ・危険箇所調査 ・家庭の日作文コンクール ・青少年作文コンクール ・家族への手紙コンクール ・合同街頭補導実施延べ400日		
成果		青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、学校、家庭、地域が青少年育成について情報交換を行い、共通の認識を得ることができた。また、学区内危険箇所調査を通学路改善要望と合同で実施し調査の効率化を図った。								
課題		学区内危険箇所調査においては、各学校等が個々に要望をするのではなく地区内の総意及び共通理解が必要である。また、提出された要望結果の情報共有が必要である。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標		合同街頭補導（延べ日数）		400	400	400	400	400		
成果指標		善行美徳表彰（件）		21	21	21	21	21		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,115	2,670	2,288	2,498	合計 2,288,158 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	551,028 円		
		一般財源	2,115	2,670	2,288	2,498	旅費	14,800 円		
	職員人件費 ②		2,665	2,393	2,350	3,042	需用費	769,370 円		
	総事業費（①+②）		4,780	5,063	4,638	5,540	委託料	869,300 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			キッズクラブ事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化					
			基本施策	青少年育成					
			施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進					
	目的		週末に子どもの安全・安心な活動拠点を設け、遊び、文化活動等の体験活動を通じ、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		主たる内容		小・中学生を対象に市内3箇所の生涯学習センターでキッズクラブを開設し、子どもたちが安心して集うことができる居場所を提供する。 ○開催場所 ・たんぼぼ 南部生涯学習センター ・アイリス 刈谷市総合文化センター ・かきつばた 北部生涯学習センター ○開催日 6月から3月 月3回土曜日の午前または午後		
	関連計画								
	位置づけ		根拠法令		放課後子ども総合プラン推進事業実施要綱、刈谷市キッズクラブ事業実施要綱				
	対象者		市内在住の小・中学生		事業期間	平成17年度～			
	実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		【参加者延べ人数】		【参加者延べ人数】		【参加者延べ人数】		【参加予定人数】	
・たんぼぼ 473人		・たんぼぼ 352人		・たんぼぼ 456人		・たんぼぼ 450人			
・アイリス 346人		・アイリス 266人		・アイリス 242人		・アイリス 250人			
・かきつばた 249人		・かきつばた 223人		・かきつばた 272人		・かきつばた 270人			
合計 1,068人		合計 841人		合計 970人		合計 970人			
成果		創作活動、自然体験など、様々な活動を通して地域住民や異世代交流を図るとともに、週末の安全・安心な居場所を提供する事ができた。							
課題		ほとんどのプログラムは、申込不要であるため、参加児童に対するスタッフの過不足が生じる。また、各会場により参加者数にバラつきが生じた。							
他市との比較検証		高浜市は1校のみPTA土曜クラブに委託し、家庭科、書道、剣道、ちぎり絵、フルートの5クラブ制で開催している。							
C 事業コスト		単位：千円		25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	27年度 事業費内訳	
	事業費 ①		2,724	2,789	2,765	2,779	合計	2,764,678 円	
	財源	特定財源	1,312	1,286	1,373	1,240	委託料	2,764,678 円	
		一般財源	1,412	1,503	1,392	1,539			
	職員人件費 ②		842	845	1,959	1,673			
	総事業費 (①+②)		3,566	3,634	4,724	4,452			
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0		愛知県放課後子ども教室推進事業費補助金			
29年度以降の事業費見込		0							

会計名		青年講座開催事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	生涯学習課		
款	項					目	担当係	青少年係	
10	5					5			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	青少年に多様な学習・体験活動の機会の場を提供し、生涯学習の推進、ボランティア活動への参加促進を図る。		主たる内容	市内在住・在勤または在学の18歳～39歳の青少年を対象に、文化・芸術・福祉・スポーツなどの各種講座を開催する。 8回連続講座 年4回開催				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内在住・在勤・在学の18～39歳		事業期間	平成7年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・ヤングカレッジⅠ 8回 受講者延べ人数123人 ・ヤングカレッジⅡ 8回 受講者延べ人数177人 ・デジカメ講座 8回 受講者延べ人数124人 ・行事食講座 8回 受講者延べ人数258人		・青年講座4回32講座 第1回 ライフデザインコース4講座 コミュニケーション&リラケーションコース4講座 第2回 生涯学習リーダー企画講座8講座 第3回 行事食8講座 第4回 バランスアップ 8講座 受講者延べ人数420人		・青年講座4回32講座 第1回 体験・体感講座8講座 第2回 生涯学習リーダー企画講座8講座 第3回 陶芸8講座 第4回 パンで旅行気分8講座 受講者延べ人数538人		・青年講座4回32講座	
成果		・青少年に多様な学習、体験活動の機会の場を提供することができた。 ・ニーズに合った講座を企画し受講生が大幅に増えた。							
課題		・ボランティア活動推進につながる講座を行う必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		募集案内配布事業所数（ヶ所）		44	42	42	42	45	
成果指標		受講者数（人）		118	76	88	90	90	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		207	431	528	693	合計	528,014 円	
	財源	特定財源	88	53	67	144	報償費	356,000 円	
		一般財源	119	378	461	549	需用費	9,984 円	
	職員人件費 ②		2,735	4,787	3,917	3,574	役務費	2,000 円	
	総事業費（①+②）		2,942	5,218	4,445	4,267	使用料及び賃借料	160,030 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0		講座受講料 保険料実費徴収金			
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			成人式開催事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	5	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	刈谷市成人式実行委員会との共催で成人式を開催し、次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする意欲の向上を図る。			主たる内容	新成人の中から実行委員会を組織し、式の企画、運営を行い、心に残る成人式を開催する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	新成人（平8.4.2～平9.4.1生）		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		開催日	平成26年1月12日	開催日	平成27年1月11日	開催日	平成28年1月10日	開催日	平成29年1月8日
会場		刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター	
対象者数		1,593名	対象者数	1,770名	対象者数	1,742名	対象者数	約1,800名	
参加者数		1,175名	参加者数	1,267名	参加者数	1,279名			
成果		成人式を行うことにより、新成人が恩師や旧友らと話し合う機会となり、大人として今後どのように生きていくかを語るきっかけとなった。 次年度の実行委員が当該年度の企画・運営を自主的に行うことができるよう、主に成人式の当日運営補助に携わってもらったこととした。							
課題		成人式当日の騒動等に備え、会場整理、警備体制を検討する。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
成果指標		実行委員OB・OGグループ（THE成人）の人数（人）			32	48	44	68	78
成果指標	成人式参加率（％）			73.8	71.6	73.4	73	73	
他市との比較検証	知立市、安城市、碧南市、高浜市、東浦町は成人式実行委員会を組織し、実施している。								
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,701	3,673	3,697	4,478	合計 3,697,400 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 3,047,120 円		
		一般財源	3,701	3,673	3,697	4,478	使用料及び賃借料 650,280 円		
	職員人件費 ②		3,998	4,083	3,917	3,802			
	総事業費（①+②）		7,699	7,756	7,614	8,280			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			家庭教育地域推進事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	推進係		
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	核家族化が進み、子どもへの接し方がわからないと不安を抱える親が増加している現状に対し、家庭教育の重要性を認識する必要があるため、各種事業を地域において実施し、家庭や地域の教育力の向上を図る。				主たる内容	○小学校区家庭教育推進協議会への事業委託			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		朝日小学校区家庭教育地域推進協議会 実績3,990人 ・親子資源回収 ・親子水難防止体験 ・親子清掃 ・親子防災教室 ・みんなで合唱		朝日小学校区家庭教育地域推進協議会 実績2,950人 ・親子資源回収 ・親子水難防止体験 ・親子清掃 ・親子防災教室 ・親子もちつき		平成小学校区家庭教育地域推進協議会 実績3,270人 ・親子ふれあい遊び塾 ・地域とともに防災活動 ・引き渡し訓練		平成小学校区家庭教育地域推進協議会（平成小学校） ・親子ふれあい遊び塾 ・地域とともに防災活動 ・夏休みのPTA奉仕活動 平成小学校区家庭教育地域推進協議会（平成幼稚園） ・おうちのひと、おじいちゃん、おばあちゃん、地域のひと遊ぼうDAY		
成果		学校、家庭、地域が協力して家庭教育地域活動、親子等ふれあい活動を行い、家庭教育への意識の高揚が図られた。								
課題		事業を委託する学校により活動内容が異なるため、参加者の増減のみで事業の達成度を評価することが困難である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		家庭教育地域推進事業の実施			実施	実施	実施	継続実施	継続実施	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		270	270	270	578	合計	270,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	270,000 円		
		一般財源	270	270	270	578				
	職員人件費 ②		1,543	1,549	2,115	2,434				
	総事業費（①+②）		1,813	1,819	2,385	3,012				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			P T A 活動育成事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	5	1							
P L A 事 業 概 要 計 画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	P T A 会員の教養の向上や相互の親睦を図ることにより、P T A 活動の育成を図る。		主たる内容	○ P T A 連絡協議会育成補助 ○ 全国大会参加補助 ○ 東海北陸大会参加補助 ○ 会場借上料補助				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	各小中学校 P T A		事業期間	～				
	実施方法	□ 直営 □ 委託 □ 指定管理 ■ 補助・助成 □ その他							
	B D O 実 績 実 施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T A 連絡協議会総会</li> <li>・ P T A 研究大会及び情報交換会</li> <li>・ 日本 P T A 全国研究大会みえ大会（東海・北陸ブロック P T A 研究大会を兼ねる）</li> <li>・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T A 連絡協議会総会</li> <li>・ P T A 研究大会及び情報交換会</li> <li>・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会下呂大会</li> <li>・ 日本 P T A 全国研究大会長崎大会</li> <li>・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T A 連絡協議会総会</li> <li>・ P T A 研究大会及び情報交換会</li> <li>・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会小松大会</li> <li>・ 日本 P T A 全国研究大会札幌大会</li> <li>・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T A 連絡協議会総会</li> <li>・ P T A 研究大会及び情報交換会</li> <li>・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会名古屋大会</li> <li>・ 日本 P T A 全国研究大会徳島うずしお大会</li> <li>・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業</li> </ul>	
成果		総会、研究大会などの実施により P T A 活動の活性化を図ることができた。							
課題		毎年行われる全国大会・東海北陸大会の開催地や活動発表の有無により参加人数が異なり、それに合わせて補助額が増減する。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		P T A 総会など各種研修会の実施		実施	実施	実施	継続実施	継続実施	
指標									
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト 建 設 事 業		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		409	340	395	460	合計	395,430 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	395,430 円	
		一般財源	409	340	395	460			
	職員人件費 ②		1,543	1,549	2,507	2,814			
	総事業費（①+②）		1,952	1,889	2,902	3,274			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			生涯学習推進事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	1					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	刈谷市生涯学習推進計画に基づき各種事業を実施することで、市民の学習活動への取組みを支援する。			主たる内容	○生涯学習啓発用品購入 ○生涯学習に関する研修会の開催			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画			根拠法令			
	対象者	市民			事業期間	～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進会議</li> <li>職員研修会</li> <li>指導者研修会</li> <li>生涯学習リーダー基礎知識講座</li> <li>生涯学習リーダーステップアップ研修</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進会議</li> <li>職員研修会</li> <li>クラブ・サークル等研修会</li> <li>生涯学習リーダーステップアップ研修</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進会議</li> <li>職員研修会</li> <li>指導者研修会</li> <li>生涯学習リーダー基礎知識講座</li> <li>生涯学習リーダーステップアップ研修</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進会議</li> <li>職員研修会</li> <li>グループ・サークル研修会</li> <li>生涯学習リーダーステップアップ研修</li> </ul>	
		成果	生涯学習指導者に対し研修会を実施し、生涯学習活動への取組みを支援することができた。						
課題		生涯学習リーダーの活動が継続して行われるよう引き続き支援をする必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
成果指標		生涯学習推進員（生涯学習リーダー）の人数（人）		25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
成果指標	グループ・サークル名簿登録団体数（団体）		189	192	197	250	400		
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,737	1,567	1,626	2,251	合計	1,626,244 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	210,400 円	
		一般財源	1,737	1,567	1,626	2,251	需用費	1,380,994 円	
	職員人件費 ②		4,348	4,364	5,327	5,475	使用料及び賃借料	34,850 円	
	総事業費（①+②）		6,085	5,931	6,953	7,726			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			公民館事務費事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	1					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	愛知県公民館連合会・西三河公民館連絡協議会の実施する事業へ参加することにより、公民館事業の円滑な実施を図る。			主たる内容		中央公民館長表彰に要する経費のほか、愛知県公民館連合会・西三河公民館連絡協議会の実施する公民館関係事業へ参加するための経費を支出する。		
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市民			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館長表彰11名</li> <li>県公民館連合会理事会</li> <li>県公民館主事部会代表者会</li> <li>県公民館連合会総会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館長表彰7名</li> <li>県公民館連合会理事会</li> <li>県公民館主事部会代表者会</li> <li>県公民館連合会総会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館長表彰4名</li> <li>県公民館連合会理事会</li> <li>県公民館主事部会代表者会</li> <li>県公民館連合会総会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館長表彰</li> <li>県公民館連合会理事会</li> <li>県公民館主事部会代表者会</li> <li>県公民館連合会総会</li> </ul>			
成果		中央公民館長表彰の実施により、多年にわたる公民館活動への取組みを広く知らしめるとともに、他の者への活動の励みとなった。 県の主催する公民館関係事業へ参加することにより、各市町の活動状況などを把握することができた。							
課題		毎年総合式典に合わせて行われる中央公民館長表彰の対象者数により、記念品費などが増減する。 各種会議での報告は、会議へ参加しなくても書面で十分な場合がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		中央公民館長表彰実施及び各種会議参加			実施	実施	実施	継続実施	継続実施
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		106	100	38	131	合計	37,501 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	8,000 円	
		一般財源	106	100	38	131	旅費	6,800 円	
	職員人件費 ②		842	845	2,115	2,434	需用費	3,401 円	
	総事業費（①+②）		948	945	2,153	2,565	負担金、補助及び交付金	19,300 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							



会計名			公共施設予約案内システム事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	パソコンや携帯電話により、公共施設の空き状況の確認や利用予約を可能とするシステムを運用することで、利用者の利便性を高めるとともに、事務の効率化を図る。	主たる内容	○システム保守管理委託 ○システム機器リース ※平成28年度より事業名を「公共施設予約案内システム管理事業」に変更					
	関連計画								
	根拠法令	刈谷市公共施設予約案内システムに関する規則							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成13年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・運用保守管理委託 ・機器リース		・運用保守管理委託 ・機器リース		・運用保守管理委託 ・機器リース		・運用保守管理委託 ・機器リース	
成果		利用者は公共施設を利用するにあたり、予約手続きが容易になるとともに、施設側では使用料の現金収納が減ること、事務の簡素化及び現金の紛失・盗難のリスクを回避することができた。							
課題		システムの利用推進を図るため、予約案内システムを広く周知し、システムによる予約申込件数を増加させる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
成果指標		システムによる施設予約申込件数（件）		76,491	76,186	80,815	81,000	83,000	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		11,102	11,023	11,024	10,967	合計	11,023,582 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	325,080 円	
		一般財源	11,102	11,023	11,024	10,967	役務費	139,870 円	
	職員人件費 ②		3,226	3,590	3,996	3,650	委託料	9,254,856 円	
	総事業費（①+②）		14,328	14,613	15,020	14,617	使用料及び賃借料	1,303,776 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			市民館施設管理事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	指定管理者により、適切な施設の管理運営を行い、地区活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。			主たる内容	○指定管理者による維持管理業務 ○市民館の修繕及び樹木管理			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例・刈谷市市民館施設維持管理要綱						
		対象者	市民	事業期間	昭和61年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設修繕</li> <li>樹木剪定委託</li> <li>指定管理料(22館)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設修繕</li> <li>樹木剪定委託</li> <li>指定管理料(22館)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設修繕</li> <li>樹木剪定委託</li> <li>指定管理料(22館)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設修繕</li> <li>樹木剪定委託</li> <li>指定管理料(22館)</li> </ul>	
成果		指定管理者である各市民館運営委員会からの不具合の報告や市民館の建築年次から来る経年劣化を踏まえ、施設に対する修繕及び樹木の剪定を行った。							
課題		各市民館運営委員会により、適切に施設の管理運営を実施するとともに、指定管理者と密に連携し、施設の状況把握に努め、適正に維持管理を行う。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
		25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
成果指標	利用者満足度（％）	81.8	68.2	59.1	80.0	85.0			
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		21,192	22,745	22,949	25,721	合計	22,949,017 円	
	財源	特定財源	47	44	44	54	需用費	1,084,268 円	
		一般財源	21,145	22,701	22,905	25,667	役務費	170,382 円	
	職員人件費②		1,894	2,182	2,429	3,042	委託料	21,694,367 円	
	総事業費（①+②）		23,086	24,927	25,378	28,763			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			集会所設置等補助事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	集会所の施設・設備の設置等に係る費用を補助することで、地区住民の負担軽減を図るとともに、地区活動の拠点を確保する。	主たる内容	○東境町高山集会所の修繕費補助 ○東竜集会所の修繕費補助 ○池下団地集会所の建築費補助 ○東陽町集会所の建築費補助 ○中手町集会所の建築費補助 ○銀座1組集会所の修繕費補助 ○銀座2組集会所の修繕費補助 ○鶴島1・2組集会所の修繕費補助					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令		集会所設置等補助金交付要綱					
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>東境町高山集会所修繕費補助</li> <li>東竜集会所修繕費補助</li> <li>池下団地集会所建築費補助</li> <li>東陽町集会所建築費補助</li> <li>中手町集会所建築費補助</li> <li>銀座1組集会所修繕費補助</li> <li>銀座2組集会所修繕費補助</li> <li>鶴島1・2組集会所修繕費補助</li> </ul>		—		—		—	
成果		地区で設置した集会所の耐震改修等の費用を補助し、集会所を安全で快適な施設とすることにより、地区のコミュニティ活動の活性化に寄与した。							
課題		施設や設備の老朽化に伴う不具合の増加が予想されることから、集会所の状況を把握する必要がある。							
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
成果指標	耐震化実施率（％）		100.0	—	—	—	—		
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		62,489	0	845	3,018	合計	845,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	845,000 円	
		一般財源	62,489	0	845	3,018			
	職員人件費 ②		2,034	0	901	1,749			
	総事業費（①+②）		64,523	0	1,746	4,767			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	5	11							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	指定管理者により、適切に市民休暇村の管理運営を行い、市民の福祉の増進を図る。	主たる内容	○市民休暇村の維持管理 ○指定管理者による管理運営					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令		刈谷市民休暇村条例・刈谷市民休暇村条例施行規則					
		対象者	市民	事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・指定管理者による管理運営 ・消火器取替え ・外壁劣化診断調査委託		・指定管理者による管理運営 ・施設の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設の修繕	
成果		指定管理者により市民休暇村を適切に管理運営し、市民の福祉の増進を図った。							
課題		80%近い客室稼働率を維持しているが、近年稼働率が低下傾向である。リピーターの割合が高いため、新規利用者の獲得に努めることにより、稼働率の維持を図る必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
成果指標		年間客室稼働率（%）	80.2	79.0	81.4	80%台維持	80%台維持		
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①	97,905	101,045	100,697	100,669	合計	100,697,281円		
	財源	特定財源	1	1	1	11	役務費	54,574円	
		一般財源	97,904	101,044	100,696	100,658	委託料	94,440,000円	
	職員人件費②	1,823	1,830	2,037	3,118	使用料及び賃借料	3,490,907円		
	総事業費（①+②）	99,728	102,875	102,734	103,787	負担金、補助及び交付金	2,711,800円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名		施設補修事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	生涯学習課		
款	項					目	担当係	施設係	
10	5	11							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	市民休暇村の施設補修を行い、利用者にとって、安全で快適な施設の維持を図る。			主たる内容	○施設、設備の補修			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令	刈谷市民休暇村条例・刈谷市民休暇村条例施行規則							
	対象者	市民			事業期間	平成25年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
・大広間畳表替 ・レストラン壁紙改修 ・大広間壁面補修		_____		・汚水処理施設修繕 ・地下給湯配管改修 ・地下給湯配管改修等工事 ・監視カメラ改修工事 ・浴場脱衣所床張替改修工事		_____			
成果		市民休暇村の施設を補修することで、利用者が快適に過ごせるようになった。							
課題		施設の老朽化に伴い、継続的かつ適切に補修を行っていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		1,218	0	8,742	0	合計	8,741,520円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	2,917,987円	
		一般財源	1,218	0	8,742	0	工事請負費	5,823,533円	
	職員人件費②		877	0	901	0			
	総事業費（①+②）		2,095	0	9,643	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			北部生涯学習センター施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	5	12								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により施設の適切な管理運営を行い、生涯学習の推進を図る。	主たる内容	○北部生涯学習センターの維持管理 ○指定管理者による管理運営						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令		刈谷市生涯学習センター条例・刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成20年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		・指定管理者による管理運営 ・消火器取替え ・外壁劣化診断調査委託		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		
成果		市民の生涯学習の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習を推進した。								
課題		利用者の意見を反映し、一層の利用率の向上を図り、より良い施設運営を継続する。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
成果指標	北部生涯学習センター稼働率（％）		29.4	30.0	28.7	31	32			
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①		105,419	108,904	112,237	119,087	合計	112,236,819円		
	財源	特定財源	11,866	13,766	13,536	13,507	役務費	46,448円		
		一般財源	93,553	95,138	98,701	105,580	委託料	111,376,447円		
	職員人件費②		2,034	1,830	2,037	2,814	使用料及び賃借料	813,924円		
	総事業費（①+②）		107,453	110,734	114,274	121,901				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		北部生涯学習センター使用料 行政財産目的外使用料						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			北部生涯学習センター施設補修事業				担当部	教育部
一般会計							担当課	生涯学習課
款	項	目					担当係	施設係
10	5	12						
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	生涯学習					
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進					
	目的	施設・設備の補修を行い、貸館としての機能維持を図る。	主たる内容	○施設・設備の補修				
	関連計画							
	根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例・刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画
		<ul style="list-style-type: none"> <li>浄化槽エア配管修繕</li> <li>舞台機構修繕</li> <li>受水槽内塗装修繕</li> <li>排水ポンプ修繕</li> <li>体育室バスケットボールコートライン補修</li> <li>洋式トイレ改修工事</li> <li>自動制御装置ダンパモーター等取替工事</li> <li>事務室改修工事</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>陶芸窯修繕</li> <li>厨房換気施設改修工事</li> <li>モニターカメラ設置工事</li> <li>洋式トイレ改修工事</li> <li>外壁改修工事</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>舞台機構修繕</li> <li>浄化槽ばっ気送風機等修繕</li> <li>エレベーター改修工事</li> </ul>		—
成果		施設及び設備の補修工事を行い、貸館として良好な機能を維持した。						
課題		県が平成2年に開館した施設（愛知県勤労福祉会館）の譲渡を受け、市が生涯学習センターとして転用利用している施設であるため、施設・設備が経年劣化により不具合が生じている。適切な時期に予防保全を実施し、長寿命化を図る必要がある。						
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標								
指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳
	事業費 ①		12,256	46,966	24,440	0	合計 24,440,400 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 6,674,400 円	
		一般財源	12,256	46,966	24,440	0	工事請負費 17,766,000 円	
	職員人件費 ②		1,508	1,162	1,293	0		
	総事業費（①+②）		13,764	48,128	25,733	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称		
		27年度までの累積事業費		0				
29年度以降の事業費見込		0						

会計名			施設管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	5	13							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○総合文化センターの維持管理 ○指定管理者による管理運営業務		
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	指定管理者により、適切に総合文化センターの管理運営を行い、生涯学習の機会及び文化・芸術活動の発表の場を提供する。							
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市総合文化センター条例・刈谷市総合文化センター駐車場条例・刈谷市生涯学習センター条例						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成21年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・指定管理者による管理運営 ・手摺付ステージ掛け階段購入		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営	
成果		生涯学習及び文化・芸術の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習の推進及び文化・芸術の振興に寄与した。							
課題		指定管理者により適切に施設の管理運営が行われるようモニタリングを実施し、指定管理者への指導等を行っていく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
成果指標		中央生涯学習センター稼働率（控室除く）（%）		49.3	50.0	51.5	52	54	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		474,022	492,950	489,800	507,710	合計	489,800,293円	
	財源	特定財源	98,512	108,540	121,606	120,003	需用費	75,026,726円	
		一般財源	375,510	384,410	368,194	387,707	役務費	641,684円	
	職員人件費②		2,034	2,534	2,037	3,650	委託料	411,111,000円	
	総事業費（①+②）		476,056	495,484	491,837	511,360	使用料及び賃借料	2,972,883円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		中央生涯学習センター使用料 総合文化センター駐車場使用料					
29年度以降の事業費見込		0		ホール使用料 行政財産目的外使用料					
						負担金、補助及び交付金	48,000円		



会計名			集会所運営費等補助事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	集会所の運営費等を補助し、地区活動の活性化及び生涯学習活動の場の確保を図る。				主たる内容	○集会所運営費等補助 ○集会所借地料補助 ○集会所修繕費補助			
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令	集会所設置等補助金交付要綱							
	対象者	市民				事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>集会所運営費補助（33か所）</li> <li>集会所借地料補助（11か所）</li> <li>集会所修繕費補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>集会所運営費補助（33か所）</li> <li>集会所借地料補助（11か所）</li> <li>集会所修繕費補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>集会所運営費補助（33か所）</li> <li>集会所借地料補助（11か所）</li> <li>集会所修繕費補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>集会所運営費補助（33か所）</li> <li>集会所借地料補助（11か所）</li> <li>集会所修繕費補助</li> </ul>		
成果		集会所の維持管理に要する運営費及び借地料を補助することにより、地区負担を軽減し、地区活動の拠点を確保に寄与した。								
課題		補助金の額・交付方法・交付時期について、全庁的な補助金の見直しの時期に合わせて検討する。								
指標名称（単位）					実績値			目標値		
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		運営費・借地料の補助				実施	実施	実施	継続実施	継続実施
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		7,949	8,157	8,603	9,084	合計 8,603,436 円			
	財源	特定財源	7	7	7	7	負担金、補助及び交付金 8,603,436 円			
		一般財源	7,942	8,150	8,596	9,077				
	職員人件費 ②		1,473	1,830	2,037	2,586				
	総事業費（①+②）		9,422	9,987	10,640	11,670				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費			0	土地建物貸付収入						
29年度以降の事業費見込			0							

会計名 一般会計			北部生涯学習センター施設整備事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	5	12					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	施設や設備を整備し、貸館としての機能向上を図る。				主たる内容	○施設・設備の整備			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例・刈谷市生涯学習センター条例施行規則								
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
_____		・空調設備設計委託 ・空調設備設置工事		・空調設備設置工事		_____				
成果		イニシャルコストとランニングコストを勘案し、適切な空調設備の設計を行うことができた。								
課題		設置工事については、平成27年度へ繰越し実施することとした。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	2,905	37,623	0	合計	37,622,880 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	37,622,880 円		
		一般財源	0	2,905	37,623	0				
	職員人件費 ②		0	669	901	0				
	総事業費（①+②）		0	3,574	38,524	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			指定管理者選定事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	11					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	刈谷市民休暇村の指定管理者の指定期間の満了に伴い、新たな指定管理者を公募により選定する			主たる内容	○選定委員会委員謝礼 ○財務諸表審査委託 ○会場使用料			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
				選定委員会3回開催					
成果		平成28年度から5年間を指定期間とする指定管理者を選定することができた。							
課題		委員が比較的高齢であったが、世代間の公平性を確保する観点での選出を検討する必要がある。採点の集計方法を見直す必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		25年度 （決算）	26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （予算）	27年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	338	0	合計	338,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	128,000 円	
		一般財源	0	0	338	0	委託料	210,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	1,489	0			
	総事業費（①+②）		0	0	1,827	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費			0				
29年度以降の事業費見込			0						

会計名 一般会計			施設補修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	13					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	総合文化センターの施設・設備の補修を行い、貸館としての機能維持を図る。			主たる内容	○施設・設備の補修			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者				事業期間	~		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		_____		_____		・総合操作盤CRT装置等修繕 ・自動制御装置ダンパ操作器修繕 ・自家発電設備修繕 ・監視カメラHDR装置修繕 ・大ホール用調光設備修繕		_____	
成果		施設の補修等を行うことにより、施設を良好な状態に保ち、施設の利用促進が図れた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	5,203	2,200	合計	5,203,440 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	5,203,440 円	
		一般財源	0	0	5,203	2,200			
	職員人件費 ②		0	0	979	951			
	総事業費（①+②）		0	0	6,182	3,151			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設改修事業				担当部	教育部			
款	項	目					担当課	生涯学習課			
10	5	13					担当係	施設係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習								
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進								
	目的	総合文化センターの施設・設備の改修を行い、施設の利用促進を図る。				主たる内容	○施設・設備の改修				
	位置づけ										
	関連計画										
	根拠法令										
	対象者					事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画			
				・駐車場案内看板設置工事							
成果		施設・設備の改修を行い、施設の駐車場の案内を明確にすることにより、施設の利用促進が図れた。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標											
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	1,210	29,161	合計		1,209,600 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費		1,209,600 円		
		一般財源	0	0	1,210	29,161					
	職員人件費 ②		0	0	979	1,179					
	総事業費（①+②）		0	0	2,189	30,340					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	27年度特定財源名称					
		27年度までの累積事業費			0						
29年度以降の事業費見込			0								

会計名			公民館運営事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	参加・協働						
		施策の内容	地域活動の推進						
	目的	公民館活動の運営を行い、地区活動の活性化を図り、社会教育の活性化を目指す。			主たる内容	○公民館運営委託 ○備品購入補助 ○公民館連絡協議会補助			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	地区公民館備品等整備事業補助金交付要綱						
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・公民館運営委託(22地区) ・公民館備品購入補助(20地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(22地区) ・公民館備品購入補助(20地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助(21地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助 ・公民館連絡協議会補助	
成果		各地区公民館へ事業委託及び備品購入補助を行い、公民館活動の活性化を図った。							
課題		各地区の特性を生かした活動が行えるような支援を検討していく必要がある。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		公民館活動事業数(事業)		155	156	157	150	150	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	27年度事業費内訳	
	事業費①		13,620	13,385	14,695	15,311	合計	14,695,383円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	10,337,000円	
		一般財源	13,620	13,385	14,695	15,311	負担金、補助及び交付金	4,358,383円	
	職員人件費②		2,244	2,253	5,719	5,475			
	総事業費(①+②)		15,864	15,638	20,414	20,786			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							